

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道9号 松江道路		事業区分	一般国道 (二次改築)	事業主体	中国地方整備局
起終点	自：島根県八束郡東出雲町出雲郷 至：島根県八束郡玉湯町湯町				延長	13.7km
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市を起点として下関市に至る延長約650kmの主要幹線道路である。 松江道路は、松江市内並びに玉湯町内の慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、延長13.7の道路である。</p>					
S47年度事業化	S46年度都市計画決定 (H1年度変更)	S52年度用地着手	S55年度工事着手			
全体事業費	約940億円	事業進捗率	84%	供用済延長	10.9km	
計画交通量	31,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 5.3 (残事業) 8.0	総費用 (残事業)/ (事業全体) 142/1,442億円 (事業費：84/1,350億円) 維持管理費：58/92億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 1,137/7,657億円 (走行時間短縮便益：1,117/7,170億円) 走行費用減少便益：-3/282億円 交通事故減少便益：23/205億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（現道における旅行速度の改善が見込まれる）</li> <li>国土・地域ネットワークの構築（山陰自動車道に並行する一般国道自動車専用道路を構成）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他21項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>松江道路は、松江市内の交通の円滑化、移動時間の改善、中心市街地の活性化が期待されており、松江市をはじめとする関係7市9町の首長で構成される山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>H13.3.までに10.9kmを供用したことで、現道の交通混雑が図られた。しかし、近年では、松江道路沿道の開発、玉湯町内の交通の輻輳など慢性的な渋滞が生じている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在までに10.9kmを供用しており、残る区間については用地買収及び工事を促進している。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>投資効果の早期発現を図るため、段階的な整備を図ってきた。平成16年度の松江東ランプ部、平成18年度の玉湯工区の供用を目指し事業を推進する。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>橋梁の耐候性鋼材（無塗装化）の使用によるコスト縮減を図っている。 建設副産物の発生抑制や再生材利用等によりコスト縮減に努めている。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。